

ひまわり

令和6年12月号



↑カラー版はこちらから

「意欲を繋ぎましょう」

校長 門脇 伸也

光陰矢の如し、と言いますが、今年も残すところ5日間となってしまいました。皆様にとって今年はどういう年だったのでしょうか。

本校では、2学期は交流の日から始まり、修学旅行、中学部西新宿中学校交流、中1・2年移動教室、小1～4年西新宿小学校交流、小5・6年宿泊体験、運動会、道徳授業公開、小5・6年鶴巻小学校交流、新宿シニア館交流など、児童・生徒の意欲を引き出す行事（特別活動）がたくさんありました。

とりわけ、11月30日（土）の第24回の運動会には、たくさんの皆様にお越しいただきましてありがとうございました。皆様の御理解御協力により、適切な感染症対策を取りながらも、コロナ禍のような館内の人数制限を設けず、無事運動会を開催できたことを嬉しく思います。当日は、ほどよい暖かな風と明るい日差しが体育館内に入ってきて、運動会日和となりました。初めての試みでしたが、小規模な校内作品展を同時開催し、児童・生徒の成果の一部をお見せすることが出来ました。年明けには、新宿区連合作品展が、昨年と同様に新宿中央公園エコギャラリーにて開催されます。ここには区内の特別支援学級・新宿養護学校の児童・生徒たちの作品が展示されます。こちら皆様にも御覧いただければ幸いです。

続いて、12月6日（金）、道徳授業公開を開催しました。こちらたくさんの保護者の皆様に御参観いただきました。本校では、これまでも、どのような題材を用いて道徳科の授業を行えば、児童生徒の道徳性を養うことにつながるのかを検討しながら、道徳科の授業づくりに取り組んできました。新宿区教育指導課の指導主事の方から御指導・御助言をいただき、教員の学びの機会となりました。

これらの行事では、たくさんの方からアンケートを通して御意見や御感想を寄せていただきましたこと、深く感謝申し上げます。また、2月に保護者と学校評議員の皆様には、学校評価への御協力をいただきます。いただきました御意見や御感想は、私たち教職員の意欲へと繋がり、より良き教育活動となるよう令和7年度の計画に生かしていきます。

今回ご紹介した行事は教育活動の一部ではありますが、子どもたちの成長は著しく、驚かされることもありましたし、そこから得る喜びもたくさんありました。コロナ禍の4年間、感染予防対策に徹して学校公開を縮小し、入館の人数制限をしてきたことを改めて振り返ると、肢体不自由教育校の安全安心を問う貴重な体験だったと捉えております。そして、コロナ感染症が未知のものでなくなってきた令和6年度は、新たな学校づくりの1年目となりました。以前にもお伝えいたしましたが、コロナ禍前のものを復活させるのではなく、以前の良いところを抽出しつつ、改良すべきところは改良し、整理することを続けています。ものごとをするにあたって意欲が重要な役割を果たしていることは、いまさら申し上げるまでもないですが、子どもたちの意欲をかき立てる試みを今後も打ち出していきます。学校行事ではありませんが、西新宿四丁目町会の子ども神輿と山車、新宿区肢体不自由児（者）父母の会のクリスマス会、ひまわりプロジェクトおよびひまわり college の音楽会、NPO 法人えがおさんさんの運動会も盛会に終わりましたこと嬉しいかぎりです。他団体の皆様、本校のパートナーとして、これからもよろしくお願ひします。

皆様、益々寒さは厳しくなります。御身大切にお過ごしください。



「運動会」

教務部



11月30日(土)に、第24回運動会を行いました。児童・生徒が各学習グループと中学部に分かれて、競技や演技を行いました。

今年度の運動会では、「ふぁいとっばつ！ころをひとつに！さいこうのうんどうかいにしよう！」をスローガンに、子どもたち一人一人が自分の課題やグループ、学部の演技に取り組みました。

本番前には、リハーサルとして、児童・生徒が他のグループ、学部の競技、演技を見られる機会を設けました。友達が課題に取り組んでいる姿に応援を送ったり、拍手をしたりする姿に心が温まりました。友達の前で一生懸命に自分の課題に取り組んだことは、本番への自信に繋がったことと思います。

運動会当日は、入場から子どもたちの笑顔が多く見られました。保護者席の家族に手を振ったり、緊張しながらも最後まで自分の課題に取り組んだり、これまでたくさん練習を積み重ねてきた子どもたちの姿がとても輝いて見えました。新宿養護みんなの心を1つに、最高の運動会になったことと思います。



道徳授業公開

12月6日(金)に、道徳授業公開を行いました。当日は、小学部と中学部の合計5つの「特別の教科 道徳」の授業を公開し、多くの保護者の皆様に御参観いただきました。

道徳の授業は、各学年の児童・生徒の実態を基に、学習指導要領から目標と題材を選び行いました。授業後の協議会では、新宿区教育委員会 池田知統括指導主事、井田指導主事から授業についての講評と講話をいただき、これからの道徳の授業を行っていく上での様々な助言をいただきました。

保護者の皆様の中のアンケートの中には、「学校で頑張っている姿を見ることができ、家でもお手伝いを通じてさらに成長していいけるといいなと思いました。」「子供たちが、みんなの様子をじっと見ていたり、自分の発表では自分なりに頑張っていたりする様子を見るだけでも心が温まりました。」等の感想をいただきました。

今後も、学校、家庭及び地域社会が一体となって子供たちの豊かな心を育くむと共に、道徳的な心情や態度を育てる指導を続けて参ります。御参観いただきありがとうございました。